

# こうしゅう 市議会広報

フルーツ王国の夏を堪能

試食 甲州市の完熟桃!!  
食べ歩きキャンペーン

直売所

完熟桃は取り  
ずので苦痛返品は  
お断り致します。

注意  
完熟桃  
1,200円

■特集① 市民と議会との対話  
テーマ「生涯学習を通じた人づくり・地域づくり」

P2~

■特集② 6月定例会レポート 議案の審議結果  
・塩山体育館の改修へ  
一般会計に2億3103万円を計上

P6~

■議案等議決結果一覧表

P8

■一般質問 8人の議員が市政を問う!

P9~

■常任委員会レポート

P18~

51号

2018.7.31 発行  
山梨県甲州市議会

マチイロ

マチを好きになるアプリ



※広報紙をスマートフォンやタブレットで

# 市民と議会との対話

平成30年5月14日開催

於：市役所本庁舎第一委員会室

テーマ

## 生涯学習を通じた人づくり・地域づくり

今回の市議会広報では「生涯学習を通じた人づくり・地域づくり」をテーマに、生涯学習に関わる皆さんと教育民生常任委員が意見交換を行いました。

第7回目となる「市民と議会との対話」は、教育民生常任委員会の企画・運営により開催されました。心の豊かさや自分らしさの発見など豊かな生活を送るため、幼児期から高齢期までの生涯を通じた学習を実現する。そして市民の皆さん一人ひとりが主体的に学び、充実した生活を送りながら、学習活動の成果を人づくりや、より良い地域づくりに生かしていくためには、何が求められているのでしょうか。

生涯学習に関わる皆さん

教育民生常任委



対話当日の様子。テーマに沿った活発な意見交換が行われた

### 教育民生常任委員会

委員長	廣瀬	明弘
副委員長	飯島	孝也
委員	丸山	国一
	飯島	武志
	廣瀬	一郎
	小林	真理子





甲州市体育協会会長

中村正彦さん



甲州市小中学校  
PTA連絡協議会会長

桐原正仁さん



塩山生活学校会長

中村道子さん



甲州市文化協会副会長

澤田正志さん



公民館長・主事会会長

水上邦彦さん

# 学びを通じた人づくりへ

**委員長** 今回は、生涯学習を通じた人づくり・地域づくりをテーマにご意見等を伺います。まず、皆さんが個人や団体活動の中で行っている学習活動や学び合いの取り組みをお聞かせください。

**中村(道)** 塩山生活学校は、全国組織です。生活学校方式という運動形態を持って、女性の目線で日常生活の中で気付いたことを話し合い、企業や行政などに問題提起をしています。レジ袋の削減運動・列車への禁煙車両導入・休日の夜間診療の実施は、生活学校の全国的な取り組みによって実現したものです。最近では食品ロス削減に取り組んでいます。今後も学び合いの活動を通して、地域における人づくりをしていけたらと考えています。

**桐原** 市内には5校の中学校と13校の小学校があります。PTA連絡協議会の大きな役割は、年に数回の学習会の開催や、市行政などに対し

て陳情を行うことです。これから人口減少が進むなかで、学校の在り方を考える必要があります。より良い学校環境を維持するための方策を協議会において検討していきたいと思っています。

## 公民館活動の推進 課題は仲間づくり

**水上** 各公民館は、地域やグループの活動場所として活用されていることから、生涯学習の拠点施設として果たす役割は大きいと感じています。しかし、地区の住民が減少しているため、各行事の開催や講座を行うためのグループづくりは、人集めが難しい状況になっています。その中で課題になることは、地域における仲間づくりだと思います。公民館を拠点に多くの人たちが集い、活動してよかつたと思える環境づくりをしていきたいと考えています。

**中村(正)** 体育協会では、「スポーツの力で甲州市を元

気に」をスローガンに活動しています。市内には、全国大会で活躍するアスリートがいますので、育成と支援を行っています。ソフトボール部は保育所などを訪ね、園児たちに体験指導を行っています。また、ナイター陸上やグラウンドゴルフなどは、生涯を通して親しめるスポーツとなるよう市内で大きな大会を計画しています。今後も生涯スポーツの普及に向けて、地域の皆さんと連携していきたいと思っています。

**澤田** 大和地域の文化協会には、6つの部があります。舞踊部は高齢者の方が多いのですが、大和夏祭りの数カ月前から参加者に盆踊りを教えています。美術部は、毎年作品展を開催していますが来場者が減っています。そこで一昨年から文化協会美術部と老人クラブでは、協力和交流を目的に合同で作品展を開催しています。市全体でも言えることですが、今後も部員や来場者が減ることが予想されるため、催しの合同開催や合併を進めていく必要があるのではないのでしょうか。

## 生涯学習を通じた人づくり・地域づくり

### 継続した取り組みが実を結ぶ

**委員長** 心の豊かさや自分らしさの発見など豊かな生活を送るために、生涯学習の実現が求められています。皆さんの活動において生涯学習の推進や充実に向けて取り組まれていることをお聞かせください。

**中村(道)** 塩山生活学校は、学校といっても卒業がないため生涯学習にはうってつけの団体だと思います。日常の身近な問題に目を向けて、できるだけ多くの仲間をつくりながら、自分たちができることを推進しています。また、市内外のお祭りやイベントに参加して、活動の啓発やPRを行うなど地道な取り組みをしています。

**水上** 大藤地区の納涼祭は、11年前に復活しました。毎年夏休み中に開催されていますが、500人以上が参加する大きな公民館行事になっています。子どもやお年寄りの参加はもちろん、市外から帰省した方も多数参加するな

ど、大好評なイベントになっています。公民館活動は継続性が重要です。講座なども継続すれば地域の特色や交流の輪が生まれ、リーダーとなる人材も育つと思います。また、行事の後には、必ず反省会を行って改善点などを確認することで、公民館活動の充実につながっていくと思います。

### 活動の様子をSNSで発信

**中村(正)** 体育協会では人集めが最重要課題です。学生時代に活躍していた選手が、社会人になるとスポーツから遠ざかってしまうことが多くあります。また、甲州市は家庭婦人のバレーボールが盛んですが、出産や子育てのため現役から離れてしまう選手がいます。そこで、スポーツのやりがいや楽しさを伝えるため、選手の活躍の様子や大会結果をツイッターやブログなどのSNSに掲載しています。受け取った皆さんからは「いいね」をいただいています。

**澤田** 大和地域の文化祭では、芸能発表のステージに保育所の園児が出演し、お遊戯などを披露してくれますが、昨年も大好評でした。また、クリスマスには園児たちと協力して、神社の清掃を行ったり、プレゼントの交換をするなどとても楽しく触れ合っています。この交流は、これからも継続していきたいと考えています。

**桐原** 塩山駅前商店街の活



それぞれの団体や地域による継続した活動が、生涯学習の充実と成果につながっていく。(写真:勝沼地域文化祭の芸能発表大会)

性を図るため、平成17年から「えんさん朝市」を開いています。私も、えんさん朝市の会の一員として参加しています。毎月第3日曜日の午前中におよつちよいぶらざりで行っていて、出店数は30店から40店ですが、回数も100回を越えました。さまざまな人たちが集まって、買い物しながら世代を超えた交流が行われていますので、地域づくりの場としても生かされています。

# 地域づくりに大切なこと

**委員長** 生涯学習を通じて地域づくりに取り組まれていくなかで、より良い地域を作るために大切だと思ふことをお聞かせください。



地域づくりで大切なことは人と人とのコミュニケーション。声掛けにより行事などへの参加を促し、交流を深めていきたい(写真:大藤地区の納涼祭)

**中村(道)** 社会的な背景もありますが、人とのコミュニケーションが希薄になっていくので、人のつながりが大事だと思います。自分のことだけでなく、隣近所や他人のことも考えられる世の中であってほしいと思います。

**水上** 地域行事についても、自分の組だけでなく地域全体を巻き込んで話し合うことが大事だと感じています。あとは声掛けです。声掛けで行事への参加を促し、地域の人と交流する機会を多く持つことが大切だと思います。

**澤田** 私もことしから組長になりましたが、まずは隣同士の付き合いを増やしていきたいと思っています。昔の言葉かもしれないですが「向こう三軒両隣」を大切にしていきたいと思えます。

**中村(正)** 体育協会では、支部の活動が地域づくりに形となって現れています。塩山南支部ではお正月ウォーキー

ングを40年以上続けていますが、その取り組みが他の支部にも広がり、塩山北支部の塩ノ山ウォーキングや大藤支部のふれあいスポーツ大会など、各地域が活発に活動し始めたところなので、ぜひ定着してほしいと願っています。

## より良い地域づくりは多様な組織の連携から

**委員長** これまで皆さんのご意見を伺ってきましたが、最後に各委員から何か提案や質問はありますか。

**飯島委員** 公民館を盛り上げるためには、愛好会等の参加者を誠心誠意大切にすることが必要です。そうすることで参加者に自分が認められているという気持ちが生まれ、居心地が良い場所となり、仲間を誘って参加するようになると思えます。

**小林委員** 先ほど、納涼祭を復活させたというお話がありました。若い人たちが地域に戻るきっかけになればいいなと思えます。

**水上** 若い人たちもだんだんと戻ってきていて、子ども

を連れて納涼祭に参加する人もいます。屋台や盆踊りなど地域に根差した納涼祭ですが、若い頃の地域での体験が大人になった時に故郷に帰ろうという気持ちにさせますし、地域の活性化に役立っていると思えます。

**丸山委員** 本日の参加者がうまく連携していけば、より良い活動ができ、より良い地域になると思いますので、ぜひそのような方向性を見出しただければと思います。

**中村(道)** この会で終わりではなく、この出会いをきっかけに次の何かにつなげていくことが大事だと思います。さまざまな分野で活動する方と話ができる機会が作ればいいなと感じました。

**委員長** このような機会を通して、ご意見やご提言を聞くことが委員会にとって大切なことであると実感しています。今後も、こうした取り組みを継続して、皆さんからいただいたご意見を市政に反映できるように、これからの議会活動に取り組んでいきたいと考えています。本日はありがとうございました。

# 塩山体育館の改修へ

## 一般会計に2億3103万円を計上

平成30年甲州市議会6月定例会は、6月4日から6月25日までの22日間の会期で開かれ、承認案、条例案、平成30年度一般会計補正予算案など15件の事件について慎重な審議を行いました。  
主な議決内容を要約してお伝えします。

### 条例など15件を審議

◆平成30年度一般会計補正予算(第1号)は、3億1791万1000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ167億9591万1000円としました。主な歳出内容は、総務費として地籍管理事業費に344万6000円、民生費として生活困窮者自立支援対策事業費等に179万9000円、農林水産業費として都市と農村交流事業費等に792万8000円、教育費として市民体育館維持管理事業費等に2億3344万8000円を追加するものです。主な歳入内容は、国庫支出金に3965万1000円、県支出金に4296

万3000円、寄附金に12万1000円、繰越金に2767万6000円、市債に2億750万円追加するもので、可決しました。

◆平成30年度介護保険事業等別会計補正予算(第1号)は、160万円を追加し、歳入歳出をそれぞれ36億3771万5000円としました。主な歳出内容は、保険給付費に160万円を追加するものです。主な歳入内容は、国庫支出金に42万2000円、支払基金交付金に43万2000円、県支出金に20万円、繰越金に34万6000円を追加するもので、可決しました。



22日間の会期で開催された6月定例会

◆市税条例等の一部改正は、平成30年度税制改正の大綱を踏まえた地方税法等の一部を改正する法律のうち、市町村たばこ税に係る地方税法の改正等に伴い、加熱式たばこの課税方式の見直し等、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

### ◆原産地呼称ワイン認証

条例の一部改正は、国税庁が定める果実酒等の製法品質基準、及びワインの地理的表示制度「山梨」による品質表示基準との整合性を図るため、認証区分のうち、山梨県産原料甲州市自社醸造ワインの認証を廃止すると共に、申請者資格要件の見直し等、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。



## 全国市議会議長会から表彰

市議会議員として在職15年以上市政の進展に寄与した功績により、(写真左から)廣瀬宗勝議員、丸山国一議員、中村勝彦議員が、また10年以上の功績により、川口信子議員が全国市議会議長会から表彰を受け、夏八木盛男議長から表彰状の伝達が行われました。



老朽化により改修が行われる塩山体育館。年間利用率は97%と非常に高い



勝沼ぶどうの丘にオープンしたRVパークは、温泉施設など既存施設への波及効果が期待される

## 勝沼ぶどうの丘

### RVパーク利用料は一泊2000円

◆ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部改正は、所得税法等の一部を改正する等の法律が施行されたことに伴い、医療費受給対象者資格の所得制限に係る規定について「控除対象配偶者」の語句を「同一生計配偶者」に改めるもので、可決しました。

◆ぶどうの丘事業の設置等に関する条例の一部改正は、ぶどうの丘施設としてRVパークを整備したことに伴い、既存施設である美術館を含めた利用料や手続き等に関する事項を明示する等、所要の改正を行う必要があるため制定するも

の面積が従前より0.08畝増加したことに伴い、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆企業立地促進産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正は、企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴い、条例の題名を改めるなど所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正は、関係する省令の施行に伴い、放課後児童支援員の基礎資格について所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

可決しました。

◆農村地域工業等導入促進のための固定資産税の免除に関する条例を廃止する条例制定は、農村地域工業等導入促進法の一部を改正する法律の施行等に伴い、条例を廃止するもので、可決しました。

◆専決処分の承認を求めることについて(市税条例等の一部改正)は、平成30年度税制改正の大綱を踏まえ、平成30年3月31日に公布された地方税法等の一部を改正する法律、及び地方税法施行令の一部を改正する地方税法、及び地方税法施行令の一部改正のうち、施行期日が平成30年4月1日とされたものについて、市税条例、国民健康保険税条例、都市計画税条例等に関し、特に緊急に所要の改正を行う必要があることから、議会を召集する時間的余裕がないため、専決処分により制定したもので、承認しました。

# 議場見学

5月25日に塩山愛育園、6月11日に赤尾保育園の園児が議場見学に来てくれました。



塩山愛育園ほし組の皆さん



赤尾保育園ゆり組の皆さん

## 平成30年6月定例会 議案等議決結果一覧表

(賛成=○ 反対=● 退席=△ 欠席=欠) ※夏八木盛男議長を除く

種別	議案番号	案件名	議員名																結果				
			掲載ページ	議会広報	平塚 悟	小林真理子	飯島 孝也	高野 浩一	廣瀬 一郎	青柳 好文	飯島 武志	高畑 一幸	廣瀬 明弘	黒川 武雄	岡部紀久雄	日向 正	川口 信子	廣瀬 重治		中村 勝彦	丸山 国一	夏八木盛男	廣瀬 宗勝
承認案	承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (甲州市税条例等の一部を改正する条例)	P.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例案	議案第56号	甲州市税条例等の一部を改正する条例制定について	P.6																				
	議案第57号	甲州市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について	P.7																				
	議案第58号	甲州市公園設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P.7																				
	議案第59号	甲州市ぶどうの丘事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	P.7																				
	議案第60号	甲州市原産地呼称ワイン認証条例の一部を改正する条例制定について	P.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第61号	甲州市企業立地促進産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	P.7																				
	議案第62号	甲州市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	P.7																				議長
	議案第63号	甲州市農村地域工業等導入促進のための固定資産税の免除に関する条例を廃止する条例制定について	P.7																				
補正予算案	議案第64号	平成30年度甲州市一般会計補正予算(第1号)	P.6																				
	議案第65号	平成30年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	P.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
報告事項	報告第2号	平成29年度甲州市一般会計繰越明許費繰越計算書について																					
	報告第3号	平成29年度甲州市一般会計事故繰越し繰越計算書について																					
	報告第4号	平成29年度甲州市水道事業会計継続費繰越計算書について																					
	報告第5号	甲州市土地開発公社の経営状況について																					

# 8人の議員が 市政を問う!



## 一 般 質 問

6月定例会では、産業・教育・福祉・観光・基盤整備など  
市政全般にわたり、6月14日・15日の2日間、一般質問が行  
われました。  
それぞれの内容を要約してお伝えします。

1	廣瀬 一郎 議員	公明党	10ページ
2	日向 正 議員	創生会	11ページ
3	川口 信子 議員	日本共産党	12ページ
4	黒川 武雄 議員	政和クラブ	13ページ
5	飯島 武志 議員	政和クラブ	14ページ
6	廣瀬 重治 議員	是々非々の会	15ページ
7	飯島 孝也 議員	創生会	16ページ
8	廣瀬 宗勝 議員	創生会	17ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご  
覧いただくか、6月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。  
掲載・発行はいずれも9月上旬の予定です。



会議録検索  
システム

廣瀬一郎 議員

公明党



さくらねこTNR



野良猫を増やさないためにも、飼い猫の不妊去勢手術費助成が求められている

## Q 飼い猫の不妊去勢手術費助成を

## A 効果等を精査して検討する

**問** 飼い主が特定できない猫に関する相談や苦情が増加している。猫は繁殖力が非常に高く、飼い猫に子猫が生まれると捨てられて、野良猫になってしまう事例がある。飼い猫の適正飼育を進めるため、飼い主に不妊去勢手術費の助成を行う

考えはないか。

**答** 県内では7市2町が手術費の助成を行っているが、効果等を見極めながら検討していく。

**問** ある公益財団法人が飼い主の特定できない猫を捕獲し、無料不妊手術を行う「さくらねこTNR活動」を行っているが、本市でも地域住民やボランティアと協働して取り組むことができないか。

**答** 活動内容や実績等を調査して研究していきたい。

### 児童生徒を対象にAED講習を検討

**問** 小中学校の児童・生徒に対する心肺蘇生教育の現状を問う。

**答** 小学5年生と中学2年生が保健体育の授業で、AEDの使い方や心肺蘇生方法を学習している。

**問** 全児童・生徒を対象に

心肺蘇生教育を行う考えはあるか。

**答** AEDの専門的な知識がある塩山消防署等と協議を行い、児童・生徒たちの理解力や判断力を考慮しながら、安全で効果的な講習を検討していく。

**問** 公共施設などAED設置施設の利用者に対して、心肺蘇生講習を行う考えはあるか。

**答** 各施設に67台を設置している。講習の実施は、所管の担当課と協議して取り組んでいきたい。

**問** 中小企業を支援する各種の補助事業は、制度内容が分かりづらいとの声がある。各制度の周知をどのように行っていくのか。

**答** 商工業の振興のために、多方面からの的確な支援が必要であることを共有認識し、商工会、金融機関、山梨産業支援機構等と連携

しながら、補助制度の活用促進を図られるよう取り組んでいきたい。

**問** 今後も新しい補助制度が計画・導入されると考えるが、どのように情報提供を行い、活用を図っていくのか。

**答** 数多い支援メニューを的確に周知できるように、商工会等の関係機関と協力して情報提供に努めていく。

**問** 本市は、峡東地域として日本農業遺産に認定されるなど、地域の特色や歴史的魅力が高く評価されているが、各地域にはまだ知られていない文化的・自然的・歴史的な遺産があると考える。これらの遺産を掘り起こし、守り伝えていくための取り組みを問う。

**答** 本市には、国の指定・選定・登録を受けた文化財が55件あるが、これらを保護しながら後世に伝えていくために適切な管理に努めている。現在、指定ではなく登録となる文化財保存制度を有効に活用し、本市の特徴ある伝統的な建造物や工作物を登録有形文化財とする取り組みを進めているところである。

Q 職員定員適正化計画の策定を

A 一層適正な人事管理のため検討する



日向 正 議員  
創生会



第2次甲州市総合計画  
(市HP)

**問** 第2次甲州市総合計画に連動した財政計画は、どのように作成されているのかを問う。

**答** 平成28年度から10年間の中期財政推計を策定し、財政計画と位置付けている。策定方法は、各年度の経常的な収入と支出を試算し、臨時的支出はヒアリング等で計画事業の内容を把握する。その上で必要な費用と財源の根拠を積み上げて推計することにより、総合計画に基づく事業の推進と財政運営上の健全性の両面を連動させている。

**問** 市財政が厳しい中で、各種団体やイベント等に対する補助金の見直しが必要ではないか。

**答** 補助金の見直し基準を設け、可能なものは平成28年度予算で縮減を行っている。今年度は、団体会員数の減少等も加味する中で見直しを行い、31年度予算への反映を検討する。

**問** 中長期財政推計では、10年後において市税歳入や人口が減少する中、市職員の人員費は変わらない。職員定員適正化計画を策定する考えはないのか。

**答** 人事配置や人材育成等、一層適正な人事管理が必要になってくるため、職員定員適正化計画の策定を検討していきたい。

**問** 市総合計画では自治会加入率を平成34年に100%と定めているが、どのように実現していくのか。

**答** 1人でも多くの方に加入してもらえよう、転入者等に対してチラシを配布して働き掛けを行っていく。また、先進事例の調査研究を行う中で、区長の皆さんにも相談して検討していきたいと考えている。

**問** 市の全職員が正確な財政状況を理解するため、どのような取り組みを行っているのか。



市職員定員適正化計画の策定により、一層適正な人事配置や人材育成に努めたい

**問** いくつか。

**答** 財政課では定期的に職員研修を開催している。今後の財政状況は、さらに厳しくなることが予測されているため、十分に説明を行い、職員の意識を高めていきたい。

水道施設を活用した小水力発電の推進を

**問** 再生可能エネルギーの活用を図るため、市環境基本計画には、木質バイオマス発電の推進計画が記載されているが実施状況を問う。

**答** 木質バイオマスの有効利用は、検討したものの方向性が見いだせない状況である。

**問** 琴川ダムから取水する水道施設を活用した小水力発電ができないか。

**答** 水道事業を行う公営企業として、温暖化対策や売電収入の確保のため、推進する必要があることから関係機関と協議し、検討していきたい。

**問** 高齢者の運転免許返納対策として、旅行会社のJTBがタクシー定期券を開発した。これは自宅から事前に登録した数力所の目的地に定額で何回でも利用できるサービスであるが、施策のメニューとして検討できないか。

**答** 効果的な公共交通体系の構築を目指し、さらなる取り組みを図るため調査研究を行っていきたい。

川口信子 議員

日本共産党



生活保護のしおり  
(市HP)



学校閉庁日を設けるなど教職員の多忙化解消に向けた取り組みが始まっている

## Q 教職員の多忙化改善策は

## A 学校閉庁日などを設けて対応する

**問** 県教育委員会が公表した教員勤務実態調査の内容を問う。

**答** 一週間の学内総勤務時間は、全国に比べ低い割合であるが、授業の準備や給食、清掃等における指導時間は長くなっている。若い世代ほど勤務時間が長い傾向である。

**問** 市教育委員会では、市内に勤務する教職員の勤務実態をどのように認識しているのか。

**答** 市内の小中学校にはタイムカードがなく、教員の時間外勤務を把握する手段がない。勤務実態は、県教育委員会が公表した調査結果とほぼ同じ状況であると認識している。

**問** 本市において生活保護の受給資格がある人のうち、実際に受給している人の割合を問う。

**答** 平成30年4月1日現在の保護率は0・89割であり、県内13市のうち上位から3番目である。

**問** 生活保護制度の内容及び活用方法を周知徹底するため、どのような工夫を行っているのか。

**答** 制度の周知は、「生活保護のしおり」を窓口で配布すると共に、市ホームページにも掲載している。

### 高校3年生までの通院費助成は難しい

**問** 市では、子どもの貧困の実態をどのように把握しているのか。

**答** 保育所、学校、家庭相談員、民生委員の関係機関や、こんにちは赤ちゃん事業や乳児健診等のさまざまな機会から把握している。

**問** 市総合戦略では、子ども医療費の助成対象を平成31年度から高校3年生まで拡充するとしているが、現段階の位置づけを問う。

**答** 現在、入院費は高校3年生まで助成しているが、財政的な問題があるため、通院費までの拡充は難しいと認識している。

**問** 市内の12施設は、事業者に指定管理料が支払われているが、年間総額を問う。

**答** 平成29年度の合計は、1億5386万7000円、改修費の合計は、3629万円である。

**問** 勝沼農業農村情報連絡施設は、勝沼CATV株式会社指定管理者であるが、管理物件の修理や補修は、協定書に沿って行われているのか。

**答** 営業努力により収支の均衡が図られているため、30万円以下の改修は、独立採算の考えから指定管理者に対応をお願いしている。

**問** 市内における生活保護の受給状況を問う。

**答** 平成30年4月1日現在、

黒川武雄 議員

政和クラブ



事業継続計画  
(中小企業庁HP)



Q 一ノ瀬 高橋 市道の維持管理費は案分を

A 本市が維持管理すべきものである

問 一ノ瀬高橋地区における市道の補修・改修工事は、劣化によるものなのか。

答 アスファルト舗装施工から30年以上が経過しているため劣化と考える。

問 東京都が関係する工事車両が市道を頻繁に往来しているが、道路構造等の協議をしているのか。また、工事車両の通行量を把握しているのか。

答 都との協議、および通行量の把握はしていない。

問 市道の維持管理費等は、東京都と案分する必要があるのではないか。

答 市道は、本市が維持管理すべきものである。今後舗装面の修復等を実施し、良好な状態を保てるよう努めていく。

問 株式会社エノモトの工場が誘致され31年が経過しているが、工場に向かうメイン道路の整備は未着手である。道路整備は誘致に

おける必須条件と考えるが、現在の状況を問う。

答 中長期道路網計画の中に整備計画はあるが、整備時期が長期着手であるため実現には時間を要すると考えている。

問 工場の近隣には、奥野田小学校や保育所があり、スクールゾーンを大型車両が通行している。安全面のクレームは、会社独自で対応していると思うが、市に対してクレームはあるのか。

答 道路には注意看板を設置し、学校や保育所があることを知らせている。特にクレーム等はない。

問 企業は取引先との契約時にリスク回避が明記されたBCP（事業継続計画）を提出するが、株式会社エノモトは、メイン道路の整備が進まないためBCP書類の対応に苦慮している。不測の事態が起きた場合、市に対して違約金が請求さ

れる可能性があるため、早急に道路整備を行う必要があると考えるがどうか。

答 他に優先させる道路整備があるため、実現には時間がかかる。

問 情報通信技術の進歩に伴いデジタル化が進んでいるが、市ではペーパーレス化をどのように捉えているのか。

答 紙代や印刷代の削減、業務の効率化が図られるが、デジタル化に伴うシステムの導入や維持管理に多額の費用が掛かるため、緊急性や費用対効果等の調査研究が必要である。

問 ペーパーレス化はICT化に向けた出発点であると考えますが、いかがか。

答 全国における先進事例等の調査を行って研究していきたい。

教育振興基本計画は基本方針等を具現化

問 第2次甲州市教育振興基本計画が策定されたが、基本方針を問う。

答 教育長 基本方針は、第一に義務教育の充実、第二に生涯学習の推進、第三に読書活動の推進、第四に文化財の保護である。基本方針や施策項目は早期の具現化に努め、点検と評価を実施し、見直しを行いながら、基本理念である「人・自然・ふるさとを愛する甲州市教育」の実現に努力していく。



デジタル化が進む市役所。ペーパーレス化は費用対効果等の調査研究が必要になる

### 飯島武志 議員

政和クラブ



就農定着総合支援制度 (市HP)



塩山高校は市内唯一の高校として存続と発展が望まれる

## Q 塩山高校 存続発展への取り組みが必要

## A 存続できるように働き掛けている

**問** 県高校審議会で県立高校の再編や適正規模等が検討された。塩山高校は市内唯一の高校であり、市として存続と発展への取り組みが必要と考えるが、市長の考えを問う。

**答** 市長 産業短期大学校と塩山高校の場所を交換す

ることが最も望ましいと感じている。非常に難しい問題であるが、存続ができるよう働き掛けている。

**問** 人口減対策は、喫緊に取り組まなければならない課題であるが、どのように推し進めていくのか。

**答** 特効薬を見つけることは難しいが、子育て支援、教育環境、医療体制等の充実をはじめ、福祉等の総合的な取り組みを進めていくことが必要と感じている。

### 市内の新規就農者は7年間で50名が誕生

**問** 農業公社のような法人を立ち上げ、担い手育成、農地管理、農産物販売まで一貫して取り組むことが必要と考えるが、いかがか。

**答** 担い手農家の確保や育成を目指して、県に農業研修センター（仮称）の設置

案を提案している。関係機関の合意や人材の確保、財政措置が必要であるため、検討の機会を作っていくたいと考えている。

**問** これまでの新規就農者支援の成果と、新たにスタートした就農定着総合支援制度の概要及び申し込み状況について問う。

**答** 市・県・国の補助事業を受けて、平成23年から29年までに合計50名の新規就農者が誕生した。就農定着総合支援制度は、新たに農業を志す方が自立就農できるように、地域でサポートをするものである。Uターン向け、Iターン向け、兼業や退職者向けなど3種類の就農プログラムがあり、最長3年間の研修を受けることができる。6月から6組8名が研修を始めている。

**問** 今後農業を継続していくためには、農地の集約整備、農道や水路の改良、農地

付近の山や崖の崩落対策、有害鳥獣対策への取り組みが何よりも重要であるが、農地基盤整備の現状を問う。

**答** 市内8地区で各種の事業を実施している。基盤整備は、担い手の確保、農地の集積等につながる重要な事業であるため、県や地区推進委員会と連携を図る中で推進していきたい。

**問** 塩ノ山の北地域の利便性、安全性を図るため、県道38号線塩山勝沼線の上井尻の信号から農道藤木61号線南へ直結する道路を新設できないか。

**答** この計画は中長期道路網計画の長期着手に、市道上井尻6号線の延伸道路として位置付けられているが、短期着手や中期着手である他の道路が事業化されていないため、実現には時間を要すると考える。

**問** 県道塩山勝沼線は、歩道が一部未整備であり大変危険で不便な道路である。市ではどのような対応をしているのか。

**答** 昨年も地区役員と県に道路改良のお願いに行っている。今後も早期に実現できるように要望していく。

**廣瀬重治**議員  
是々非々の会



**Q** 市環境センター解体のめどは立っているか

**A** 解体費用の確保が大きな課題

**問** 市環境センター（旧塩山クリーンピア）の解体と整備の進捗を伺う。

**答** 将来の解体に備えて、平成29年度に敷地境界のダクトキシンや工場棟内のアスベスト等の堆積物等事前調査と分析業務を行った結果、近隣住民への影響はないと判定されている。29年4月から甲府峡東クリーンセンターが稼働し、家庭系粗大ごみも直接持ち込みができるが、市民の利便性を考慮し、引き続き市環境センターでも受け入れを行うこととした。隣接住民の皆様には、積み替え場所としての使用について承諾を得ている。

**問** 解体の具体的な予定や方向性は、どこまで決まっているのか。

**答** 現在、別の積み替え場所を探している。施設の解体には多額の費用が必要となるが、近隣住民の皆様のご意見伺う中で、できるだけ早く解体に向けて対応していきたい。

**問** 解体については、実施する方向ではあるが、めどが立っていないと理解してよいのか。

**答** 解体費用の確保が大きな課題である。

**問** 積み替え作業は、他の場所で行うことはできないのか。

**答** ある程度の広い面積がないと受け入れ作業ができないため、現在の場所を使用している。

**問** 市環境センターの近隣住民に対する補償金の支払いや、覚書が交わされた経緯を伺う。

**答** 一般家庭系粗大ごみの積み替えを行うにあたり、上西1組及び25組の快適な生活環境の保全を図るための覚書を締結している。環境センターに粗大ごみを搬入する一般市民の車両、お

よび粗大ごみを運搬する業者車両の往来、積み替え作業等により発生する騒音や振動など近隣住民の生活環境を考慮して補償金を支払っている。年間の補償金額は、上西1組に40万円、上西25組に150万円である。支払い終了期限は、覚書に定められている平成34年3月31日である。

**上西25組の補償金額50万円増額の理由は**

**問** 平成29年度から上西25組の補償金を100万円から150万円に増額している理由を伺う。

**答** 平成29年3月末に東山梨環境衛生センターが閉鎖になり、勝沼地域と大和

地域の家庭系粗大ごみの搬入先を市環境センターに変更した。また、市民からの要望により、第1・第3土曜日を受け入れ日に追加したことなどが増額の理由である。

**問** 組に未加入の住民は、補償の対象から外れているため公平ではない。今後は正する考えはあるのか。

**答** 個人に対する補償は非常に困難であるため、上西25組に対して補償を行っている。

**問** 市環境センターの解体や整備は、最優先課題として市長の任期中に解決してほしいが、いかがか。

**答** 市長 私の任期中に解体して、全てを整備することは不可能である。



家庭系粗大ごみが持ち込まれる環境センター。施設解体のめどは立っていない

飯島孝也 議員  
創生会



フランスハンドボールチーム  
(市HP)



高速バスは2次交通の整備など利便性の向上が求められる

# Q 高速バスは2次交通の充実を図れ

# A 利便性が図られるよう検討する

**問** 市内の高速バス路線、バス停周辺のインフラ整備の現状を問う。

**答** 甲州ワインライナーは、停留所が5カ所あり、駐車場やトイレ等が整備されている。中央高速バス甲府線は、駐車場はないが停留所付近に公衆トイレが整備さ

れている。  
**問** 高速バス利用者の2次交通の充実が必要と考えるが検討しているのか。

**答** 利便性が図られるよう、乗り継ぎ時間の設定など観光に資する公共交通網となるよう検討していきたい。

**問** 市内の周遊観光で不足しているものや整備を計画しているものは何か。

**答** 2次交通、ベンチ、トイレの整備要望があり、ベンチは設置を検討している。トイレは新設の予定はなく、改修を順次進めている。

**問** ぶどうの丘の高い集客力を市内に波及させるため、ワイナリーや農家と連携を強化すべきではないか。

**答** ワイナリーの協力を得た新酒まつりの開催や、メーカーに売れ筋ワインの情報提供を行っている。また、農家が生産する市内産干しブ

ドウやブドウジュースを販売している。今後も生産者と情報交換し、商品開発をしていきたい。

**問** 山岳アクティビティに関する民間事業者がイベント開催のため必要な許可申請等を行う際に、市が協力したことはあるのか。

**答** 昨年開催されたトレイルランニングのイベントは、県有林の使用について市を通じて許可申請を行った。

**問** 山岳観光の経済効果を上げるために必要なインフラは何があるのか。

**答** バス路線、駐車場、宿泊施設が必要と考える。

**問** 東京オリンピック・パラリンピックを契機に、インバウンドを意識した地域振興の構想はあるか。

**答** フランスのハンドボールチームが本市で事前キャンプを実施することにより、多くの外国人の来訪が想定

される。これを機に本市の魅力や情報を世界に向けて発信し、インバウンドにつなげるとともに、ハンドボールの聖地を目指した地域振興を図っていく。

**問** 地域通貨導入の動きがあるが内容を問う。

**答** ふるさと納税の返礼品として電子地域通貨を贈るものであるが、実証成果等を踏まえて検討していく。

**問** 塩山駅前空き店舗調査の結果を問う。

**答** 空き店舗26件中20件に対し、建物の構造、面積、築年数等を調査した。6件からは条件が合えば貸し出し可能との回答があった。

**問** 勝沼農業農村情報連絡施設の譲渡候補先を検討するときに、これまで勝沼CA TV株式会社が行ってきた投資や役割を評価すべきではないか。

**答** これまで勝沼地域に密着した情報発信の役割等を果たしていることは十分に認識している。現在、事業価値、および資産価値等を分析し、今後の在り方を検討している。



廣瀬宗勝 議員  
創生会



世界農業遺産  
(農水省HP)

# Q ぶどうの丘事業管理者を設置するのか

# A 適任者を早急に人選していききたい

**問** 勝沼ぶどうの丘宿泊施設は、今後も適正な維持管理を行っていくため宿泊料金の値上げを検討すべきではないか。

**答** 今のところ値上げは考えていないが、全体の売り上げ等を考慮する中で、必要に応じて検討していく。

**問** ぶどうの丘事業管理者を設置する考えはあるか。

**答** 市長 適任者を早急に人選していききたい。

**問** 塩山体育館改修の財源は9割が起債であるが、国や県の補助金を活用することはできないか。

**答** 国県支出金に該当するものがなかった。スポーツ振興くじ助成金の対象になるため、第2次募集があれば申請を行う。

**問** 本市の文書管理は適正に行われているのか。

**答** 文書管理は職務遂行の

基本である。必要に応じて研修等を実施し、職員の意識徹底に努めていく。

**問** ふるさと納税の寄附額とPRの取り組みを問う。

**答** 平成27年度は7億9278万円余で納税の最高額であった。29年度は5億4878万円余であった。今後は、返礼品の見直しやホームページの更新回数を増やすなど、注目度を上げる工夫を行っていききたい。

## 勤労青少年ホームの本館と体育館を閉鎖

**問** 勤労青少年ホームの閉館に至る検討経過と今後の方向性を問う。

**答** 本館と体育館は、耐震診断の結果、地震により倒壊や崩壊する危険性があるため、取り急ぎ閉鎖を決定した。今後の方向性は、利用実態等を検証し、施設の

設置意義を踏まえながら検討していく。

**問** 本市の消防団員報酬額は年間1万円であるが、低額ではないか。

**答** 団員報酬額は、東山梨行政事務組合を組織する山梨市と歩調を合わせる必要があるため、協議をしていきたい。

**問** 世界農業遺産認定に再チャレンジする意義を問う。

**答** 峡東地域の果樹農業システムが世界に認められたという誇りの創設、農産物の付加価値の向上、定住・移住や観光客の増加等が考えられる。

**問** 今回の申請書見直しのポイントを問う。

**答** 今回の申請書見直しのポイントは、借入限度額にほぼ到達している。今後は、あらゆる事業の抜本的な見直しが必要となるが、財源の縮小は十分な対応策を検討する中で事業を進めていききたい。

**問** 果樹地帯における生物多様性を記載し、峡東地域の地理的、気候的、社会的、経済的な特徴や景観について強調した。

**問** 再チャレンジの抱負を峡東地域世界農業遺産協議会会長の市長に問う。

**答** 市長 前回より充実した申請内容になっている。現地審査や2次審査も万全の体制で臨み、吉報が届くよう取り組んでいきたい。

**問** 本市の財政状況を問う。

**答** 合併特例債は、借入限度額にほぼ到達している。今後は、あらゆる事業の抜本的な見直しが必要となるが、財源の縮小は十分な対応策を検討する中で事業を進めていききたい。



勝沼ぶどうの丘は事業管理者の人選が進められている

# 常任委員会レポート

## 平成30年10月1日から

### 加熱式たばこの課税方式を見直し

#### 総務

総務常任委員会を6月21日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

#### 改正

■ どのような企業が課税免除の対象になるのか。

■ 対象資産は、土地・家屋・構築物である。機械電子産業、食品飲料産業、宝飾関係の伝統産業等が対象になる。取得価格の合計額が1億円を超え、国に事業の先進性が認められることが取得価格要件になる。

■ 農村地域工業等導入促進のための固定資産税の免除に関する条例を廃止する条例の制定

■ 市税条例等の一部改正  
■ たばこ税の改正であるが、加熱式たばこは課税されていなかったのか。  
■ 加熱式たばこの区分がなく、今まではパイプたばことして課税されている。

■ 企業立地促進産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部

■ 農村地域工業等導入促進のための固定資産税の免除に関する条例を廃止する条例の制定

■ 本条例により、市内で固定資産税の免除を受けていた企業はあるか。  
■ 市内の3社が対象になっていた。

■ 平成30年度一般会計補正予算(第1号)

■ 塩山体育館改修費の財源として教育債2億750万円が計上されているが、ふるさと納税などの財源の活用を検討したのか。

■ ふるさと納税の活用は、当初予算を前倒しして使用しているため難しい。現在ス

ポーツ振興くじ助成金の申請を検討している。

■ 将来に残していくための改修であるなら、広く寄付を募るなど少しでも財政負担を減らす努力が必要ではないか。

■ 予算を伴う公共施設の

長寿命化対策は、大きな行政課題であるため、庁内で検討していく。

総務常任委員会  
◎黒川武雄 ○平塚 悟  
廣瀬宗勝 夏八木盛男  
川口信子 高野浩一



愛煙者が増加している加熱式たばこ。今年10月1日から課税方式が見直される

#### 教育民生

## 塩山体育館の改修工事

### 来年3月までに完了予定

教育民生常任委員会を6月19日に開催しました。

主な審査内容を要約してお伝えします。

■ ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部改正

■ 医療費の助成対象は、子どもと親なのか。

■ 子どもと親に助成される。また、父母のいずれかに障害がある場合も対象になる。所得制限を超える場

■ 子どもと親に助成される。また、父母のいずれかに障害がある場合も対象になる。所得制限を超える場

合は受給することはできないが、子ども医療費の助成対象になる。

■ 放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

■ 放課後児童支援員の資格基準が緩和されるが、具

体的にどのように改正されるのか。

■ 中学卒業後も児童クラブの補助員を5年以上上勤め、研修を受けると支援員になることができる。また、教員資格者は、免許更新をしていなくても支援員になることができる。



教育民生常任委員会は塩山体育館の現地調査を実施して改修内容等の確認を行った

## 産地パワーアップ事業で

### 農業資機材の整備を支援

建設経済常任委員会を6月20日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■ぶどうの丘事業の設置等に関する条例の一部改正  
 問 車中泊や飲食を目的としたRVパーク（車中泊専用駐車場）を整備するが、既存施設の利用をどのくらい見込んでいるのか。  
 答 日本RV協会からは、パーベキュー施設や温泉施設等を利用するお客様が多いと聞いている。パーベ

キューガーデンは売り上げ増加を見込んでいる。

■原産地呼称ワイン認証条例の一部改正  
 問 認証基準が厳しくなる部分と緩和される部分があるが出荷量に影響はないか。  
 答 出荷量は自然環境の変化による変動もあり得るため、制度改正によるものと言いつれない。  
 問 お客様に対して原産地呼称ワインをどのように認知させていくのか。  
 答 ぶどうの丘で販売する

■平成30年度一般会計補正予算（第1号）

問 生活困窮者自立支援事業の内容を問う。

答 主な内容は、生活保護世帯の子どもが大学に進学する際に、自宅から通学する場合、進学準備金として1人当たり10万円が支給される。なお、児童養育加算と母子加算等の見直しや、医療扶助の適正化として後

発医薬品の使用を原則化するなど、生活扶助費の見直しを行う。

問 塩山体育館の改修費2億3103万2000円が計上されているが、改修スケジュールを問う。

答 今年の10月には着工する予定である。外壁工事から始め、来年3月には完了したいと考えている。

問 塩山体育館の改修にあ

問 枯露柿の乾燥機とプレハブ式冷蔵庫のリースに対する補助金額を問う。

答 乾燥機の総事業費は200万円、国の補助が100万円、市の単独補助が20万円、自己負担額が80万円である。冷蔵庫の総事業

たり、利用者の意見を取り入れたのか。  
 答 スポーツ関係団体の代表者で構成するスポーツ推進審議会から意見を聞き、一部の意見を取り入れている。

教育民生常任委員会  
 ◎廣瀬明弘 ○飯島孝也  
 丸山国一 飯島武志  
 廣瀬一郎 小林真理子

費は150万円、国の補助が75万円、自己負担額が75万円である。

建設経済常任委員会  
 ◎日向正 ○岡部紀久雄  
 中村勝彦 廣瀬重治  
 高畑一幸 青柳好文



農業振興に資する産地パワーアップ事業。プレハブ式冷蔵庫のリース代などが補助対象になる

# 表紙の写真

市内では、7月8日・16日・22日・29日の4日間、恒例の「完熟桃食べ歩きキャンペーン」が開催されました。会場になったJAFフルーツ山梨の5共選所には、県内外から多くのお客様が訪れ、収穫したばかりの甘く新鮮な桃を味わいながら、フルーツ王国の夏を堪能していました。



## のんちゃん 絵日記 (作)のんちゃん



### 9月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
8/26	27	28	29	30	31	9/1
				本会議 (開会)		
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	予備日	常任委員会 (教育民生)	
16	17	18	19	20	21	22
		常任委員会 (建設経済)	常任委員会 (総務)	決算審査 特別委員会 (一般会計 財産区会計)	決算審査 特別委員会 (一般会計 財産区会計)	
23	24	25	26	27	28	29
		決算審査 特別委員会 (特別会計 企業会計)	決算審査 特別委員会 (特別会計 企業会計)		本会議 (開会)	

○午前10時開会です。(日程変更はホームページ等でご確認ください)  
○市議会とはどなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場(市役所本庁舎 3階)へお越しください。

### こちら編集室

■夏、真つ盛り、家族と、友達と、気の合った仲間と、夏休みの計画を立てておられることと思います。

■「盆地に適した山梨の複合的果樹システム」峡東地域(甲州市、山梨市、笛吹市)が日本農業遺産に認定されました。

■夏休みの計画がまだの方は、歴史を学び、景色に感動し、食して幸せになれる地元の旅を楽しんでみませんか。慣れた所に新たな発見があるかもしれませんよ。

■議会広報編集委員会では、山形原川西町議会(全国町村議会広報コンクール最優秀

賞受賞)、株式会社ぎょうせいにて研修をさせていただきました。市民の皆さまに、読みやすく、分かりやすい広報紙作りのアドバイスをいただき、議会広報51号に反映いたしました。議会と市民の懸け橋としての広報紙になるよう努力していきます。

(明)

■議会広報編集委員会  
市議会議長 夏八木盛男  
編集委員長 岡部紀久雄  
副委員長 川口信子  
委員 廣瀬明弘  
委員 高畑一幸  
委員 青柳好文  
委員 廣瀬浩一郎  
委員 高野真理子  
委員 小林真悟

## 輝く甲州市民



つる たく  
鶴田 拓 さん  
塩山小屋敷 (14歳)  
塩山中学校

- 東山梨支部総合体育大会 陸上競技の部  
1500mと3000mで大会新記録を樹立  
1500m: 4分20秒17 (第1位)  
3000m: 9分10秒82 (第1位)
- 山梨県中学通信陸上競技大会  
1500m: 4分13秒67 (第1位)  
3000m: 8分59秒60 (第1位)

甲州市ホームページで  
議会広報のバックナンバーが読めます。

甲州市ホームページのトップ画面上の「甲州市議会」をクリックし、続いて「議会広報」をクリックしてください。



議会広報バックナンバー